

公益財団法人ソニー音楽財団
(S o n y M u s i c F o u n d a t i o n)

平成28年度 事業報告書
(2016年4月1日～2017年3月31日)

I. 方針

当財団の平成28年度事業は、これまでの実績を基に、より堅実な活動を積極的に展開することによって、一層当財団の社会的評価を高めるよう努めました。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」

「Concert for KIDS～3才からのクラシック®～」

「Concert for KIDS～0才からの^{KODO}鼓童～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容構成で開催しました。

【日程及び会場】2016年～2017年

4月30日(土)	[東京都]	ホテルニューオータニ
7月6日(水)	[東京都]	台東区生涯学習センター ミレニアムホール
7月18日(月祝)	[宮崎県]	都城市総合文化ホール
8月20日(土)	[東京都]	サントリーホール ブルーローズ(鼓童)
10月15日(土)	[神奈川県]	青葉区民文化センター フィリアホール
3月12日(日)	[東京都]	HAKUJU HALL
3月25日(土)	[東京都]	秋川キララホール
3月29日(水)	[埼玉県]	プラザウエスト さくらホール

以上9か所全11公演

(2) 「0才まえのコンサート®～ママのおなかは特等席～」の開催

妊娠している母親が、コンサートにより得られる感動や喜びは、お腹の赤ちゃんにもよい影響を与え得る、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに160回以上、全国30カ所以上で開催しています。

妊娠をきっかけにクラシック音楽に触れてみようというクラシック初心者の方々もリラックスしてコンサートを楽しめるよう、曲は耳馴染みのある優しい小品を中心に構成され、出演者による出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、トークも交えながら進行します。カップルや家族で外出しやすい土・日の午後に開催しており、来場者の多くがお腹の中の赤ちゃんとパパとママなのも大きな特徴です。

今年度は実施しませんでした。

(3) 「子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ ～10代のためのプレミアム・コンサート」の開催

子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズは、2004年より始まりました。これまでにニューヨーク・フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シャトレ座、イ・ムジチ合奏団、ウィーン・トーンクンストラ管弦楽団、ファジル・サイ、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団、ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、シモン・ボリバル・ブラス・クインテット、鼓童、ロンドン交響楽団など世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してきました。今後、小学生から10代を対象として30周年事業として立ち上げた「10代のためのプレミアム・コンサート」にシリーズを統合し、今年度は1公演開催しました。

【日程及び会場】

子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ Vol.10

10代のためのプレミアム・コンサート

マキシム・ヴェンゲーロフ～ヴァイオリンの極み

2016年5月23日（月） [東京都] 文京シビックホール 大ホール

出演：マキシム・ヴェンゲーロフ（ヴァイオリン） ヴァグ・パピアン（ピアノ） 他

主催：Sony Music Foundation

(4) 「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」の開催

毎年2回開催している本コンサート・シリーズは1990年よりスタートし、25年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する献血運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。

今年度は大阪と東京にて開催しました。

【日程及び会場】

【第54回】大阪公演

2016年10月27日（木）
場所：[大阪府] いずみホール
出演：レ・ヴァン・フランセ（木管五重奏+ピアノ）
主催：Sony Music Foundation
共催：いずみホール
協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】
後援：日本赤十字社

【第55回】東京公演

ニューイヤー・コンサート 2017
2017年1月13日（金） [東京都] サントリーホール
出演：荒木奏美（オーボエ） 高木綾子（フルート） 吉野直子（ハーブ）
川瀬賢太郎（指揮） 東京都交響楽団
主催：Sony Music Foundation
共催：公益財団法人東京都交響楽団
協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】
後援：日本赤十字社

(5) GREAT ARTIST SERIES

当シリーズは世界的に実力第一級のアーティストによる、商業ベースに左右されることのない、貴重な公演を提供しようとするシリーズです。
今年度は実施しませんでした。

(6) 東日本大震災復興支援プロジェクト

2011年度から東日本大震災復興支援プロジェクトの柱として開始した「小・中・高校生のための『第九』チャリティ・コンサート」は、チケットを購入することによって子どもたちもチャリティに参加できるコンサートで、チケット収入の一部と公演当日の募金を被災した子どもたちの支援に役立てることを目的とし、中期的に継続します。6年目となる今年度は、新日本フィルハーモニー交響楽団での公演を行いました。また「Concert for KIDS」オリジナルCDの売上から1枚につき200円を震災復興支援活動のために寄付しました。

【日程及び会場】

2016年12月18日（日） [東京都] すみだトリフォニーホール 大ホール

出演：フランチェスコ・イヴァン・チャンパ（指揮・おはなし）

新日本フィルハーモニー交響楽団 朝岡聡（ナビゲーター） 他

主催：Sony Music Foundation

（7）Dream Seats / 子ども音楽新聞

Dream Seatsは、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演などを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。今年度は21公演を対象に取り扱いました。

また、演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させるため「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。

今年度は「第九」チャリティ・コンサートと連動、最新の第24刊を「第九」をテーマとして発行しました。

公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

（1）国際オーボエコンクール・軽井沢

1985年から3年毎に開催してきた「国際オーボエコンクール」は、昨年度2015年に第11回を迎え、30周年という大きな節目となる大会として開催しました。今年度は実施しませんでした。次回第12回は2018年に開催予定です。

（2）齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902－1974）氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会（現・公益財団法人ソニー音楽財団）は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して

下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団初代理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。2011年度に一部規則改定し、広く業界から候補者に関するご意見を伺い、新たに任期制選考委員3名に加わっていただき選考を行い、理事会にて決定しています。第15回となる今年度は、チェロ部門を酒井淳氏が受賞、指揮部門は該当者なしとなりました。

当賞の内容は以下の通りです。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

- ・ 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- ・ チェリストと指揮者を各々1年に1人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

（永久選考委員）

永久選考委員は以下の通りとする。

永久選考委員：小澤 征爾 氏（指揮者）

堤 剛 氏（チェリスト）

（任期制選考委員）

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を3名置く。任期制選考委員は理事

会に於いて選任し、任期は3年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

5. 賞

- ・ 楯
- ・ 賞金 当該年毎に1人500万円（総額1,000万円）

6. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

7. 顕彰時期

当該年毎に適切な時期を定める。

8. 主 催：Sony Music Foundation

特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団

セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

(3) 「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

2002年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、1名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は実施しませんでした。

(4) 「国際オーボエコンクール」入賞者及び奨励賞受賞者に対する支援

1985年より3年毎に開催される「国際オーボエコンクール」はこれまで国内外の多くの若手オーボエ奏者にコンクールという形で場を提供してきました。優秀な日本人出場者に贈られる「奨励賞」受賞者や本選出場を果たした演奏家に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は、第1位[大賀賞]を受賞した荒木奏美氏によるリサイタルを行いました。

「東京・春・音楽祭」2016 荒木奏美 オーボエ・リサイタル

～第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢 第1位[大賀賞]受賞記念公演

【日程及び会場】

2016年4月12日（火） [東京都] 上野学園 石橋メモリアルホール

出演：荒木奏美（オーボエ）※第11回第1位[大賀賞]受賞者

宇根美沙恵（ピアノ）／水谷 晃（ヴァイオリン）他

主催：東京・春・音楽祭実行委員会／Sony Music Foundation

(以上)